

生徒指導だより

2012. 5. 29

中間テストも終わり、新入生もようやく1年生となってきました。新学年の色々な変化にも慣れ、学校自体も少しずつ落ち着いてきています。ただ、それが気の緩みとなるのか、謹慎になる生徒や注意を受ける生徒も増えてきています。勉強にクラブに集中できる季節ですから、けじめをつけて毎日をすごして欲しいものです。

☆ものを大切に

世の中に物があふれ、なんでも簡単に安く手に入るようになってきたからでしょうか、物を大切にしない場面が目につきます。

①下足ロッカーの上に革靴・体育館シューズ・スポーツシューズを放置する

本来、下足ロッカーに入れる所を、入れるのが邪魔くさいのか、下足ロッカーの上に放置しています。見苦しいこともあり、定期的に撤去していますが、取りに来るようになってもほとんど取りに来ません。取りにこなければ廃棄しますが、靴がなくなれば当然困るはずです。中にはクラブのスパイクもあります。また新しいものを買うのでしょうか。時折、「先生、体育館シューズを盗られました」といってきます。どこに置いていたのかを尋ねると、ロッカーの上なのです。

②教科書やノート、体操服まで容易に貸し借りする

貸し借りはいいかもしれませんが、そのうちだれに貸したかわからなくなり、自分のものがなくなってしまうのです。また、人から借りたものを友達に貸す、又貸しを平気とする者がいます。さらに、いつも借りているからと無断で持っていく不心得者もいます。名前を書いていけば見つかることもありますが、それさえしていません。

③自転車に鍵をしない

本校は立地的なことも関係して、自転車通学の生徒が8割以上を占めます。また、帰りは下り坂ということもあって、楽をしようという気持ちを持つからか、自転車の盗難が後を絶ちません。校内駐輪場に防犯カメラを設置し、盗難があった時はカメラをチェックして不心得者を見つけ出してきました。おかげでずいぶん盗難は減りました。しかし、4月からでも2件の盗難がありました。

鍵をしなくても盗難にあわないのが本来の姿ですが、以上のような事情もあり、生徒に対してはいつも自己管理を呼びかけています。下足室のロッカー、教室のロッカーも同様です。それでもなお自転車に鍵をしない生徒は後を絶ちません。

先日の集会で、鍵をしていない自転車が盗難にあっても探さない、ということを伝えました。自己管理を責任もってする、大人へのステップとして重要ではないでしょうか。